

新聞の読み方・使い方 I

科目ナンバリング CAE-110
選択 2単位

森 吉弘

1. 授業の概要(ねらい)

親和力: 協働力: 統率力: 感情制御力:△ 自信創出力:
行動持続力:△ 課題発見力:○ 計画立案力: 実践力:△ 創造力:△

社会を知ることは、自分の人生を明るくすることだと言っても過言ではない。ニュース(情報)は光、世の中を照らしてくれる。

そのツールのひとつとなるのが新聞。政治、経済、社会、国際、スポーツ・文化と様々な角度から、今の世の中を伝えてくれる。社会人はもちろん新聞を読む。社会を知らなければビジネスにならないからだ。学生もしかし。社会を知らなければ将来を描けないからだ。

メディアとどう接していくか、メディアからの情報をどう受け止めるか、様々な記事を取り上げながら、世の中に対する考察を深めていきたい。授業中に時事問題も意識的に取り上げていき、時代感覚も身につけてもらう。NHKでの経験を生かした解説もしていく。なお、その時々ニュースも取り上げていくので、カリキュラムが場合によっては変更することも承知してほしい。なぜネットのニュースを私が薦めないのか。その答えも講義で紹介していく。

本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は企業(業界:マスコミ)において報道業務(主たる業務はアナウンサー)に携わり、授業では、現場における実例や実体験や取材者側の視点を交えて講義を展開したり、報道機関の課題などを題材とした議論を行ったりします。

6月(11月も)に行われる語彙力読解力検定(朝日新聞)の受講をしたものは、合否に関わらず、積極性を買い加点対象となる。

*受講希望者が200名を超える場合、最初の授業でレポートを書いてもらい、選抜もある。

2. 授業の到達目標

- 1) 記事の周辺事実を把握し、新聞がスラスラ読めるようになる
- 2) 社会の出来事を、多角的に見ることができる
- 3) 1つの事象を、他との現象と関連づけられる(背景の理解)

3. 成績評価の方法および基準

出席状況(10%)、授業に取り組む姿勢(10%)、課題の提出と書かれた内容など(80%)総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などに広く接すること。また、分野を決めて、徹底的に書物を読む。

6. その他履修上の注意事項

大講義室での講義が予想されます。全体の雰囲気乱すことなく、全員一丸となって 90分に向き合ってください。当然ながら、何かをつかみたいという前向きな学生の参加を望みます。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション 「ニュースは人生を深める」
- 【第2回】 記事を読み、知らないことに気づく
- 【第3回】 知らないことを知り、知ることの深さを知る
- 【第4回】 ニュースを読み解くために基礎作り(1)今のキーワードを挙げる
- 【第5回】 ニュースを読み解くために基礎作り(2)キーワードをまとめる
- 【第6回】 ニュースを読み解くために基礎作り(3)キーワードの発表準備
- 【第7回】 ニュースを読み解くために基礎作り(4)発表
- 【第8回】 経済記事を読む(国内)
- 【第9回】 経済記事を読む(アジア)
- 【第10回】 経済記事を読む(アジア)
- 【第11回】 経済記事を読む(国際)
- 【第12回】 政治記事を読む(国内)
- 【第13回】 各紙読み比べ(1)
- 【第14回】 各紙読み比べ(2)
- 【第15回】 講義まとめ、レポート